



一面より続く

戦及び個々の闘争においては、彼らは技術的には失敗することなく、断つて認めざるを得ない。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。

戦及び個々の闘争においては、彼らは技術的には失敗することなく、断つて認めざるを得ない。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。

戦及び個々の闘争においては、彼らは技術的には失敗することなく、断つて認めざるを得ない。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。

戦及び個々の闘争においては、彼らは技術的には失敗することなく、断つて認めざるを得ない。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。革命の目的を達成することである。

第二章 赤軍派の根本思想の批判

(a) 赤軍派の根本思想としての

いわゆる攻撃型階級闘争論

思想的には無節操であるにもかかわらず、赤軍派の一貫した根本思想は、攻撃型階級闘争論か、プロレタリアートの高次の自然発生

つまり世界革命戦争の時代が現出する。プロレタリアートに責任を持たないこと、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず。

つまり世界革命戦争の時代が現出する。プロレタリアートに責任を持たないこと、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず。

つまり世界革命戦争の時代が現出する。プロレタリアートに責任を持たないこと、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず。

つまり世界革命戦争の時代が現出する。プロレタリアートに責任を持たないこと、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず、誤った階級闘争論を主張するのみならず。

第三章 階級闘争に対するマルクス主義の原則の復権

(a) プルドンと上野君の賃労働者の把握

「三種の軍隊」なる提案をして、(「査証」No.28参照)だが、資本制の生産様式が支配的な社会において、労働者の生産を形成しない限り、資本によって富を取り返すという思想によつて、プロレタリア革命を組織できない。その様な思想は、無政府主義か、労働組合主義としてあらわれのみのものだ。

「三種の軍隊」なる提案をして、(「査証」No.28参照)だが、資本制の生産様式が支配的な社会において、労働者の生産を形成しない限り、資本によって富を取り返すという思想によつて、プロレタリア革命を組織できない。その様な思想は、無政府主義か、労働組合主義としてあらわれのみのものだ。

(b) 資本主義批判と赤軍派の根本思想を折衷した八木君

さて、赤軍派の理論家である八木君は、この点を認めている。だが彼の論点は、これを理論として承認しているだけであつて、論争として問題を提出していない。

この意図性・組織性・計画性に完全に移しえらるるまでに闘い抜かれなければならない。その中心は、国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。

この意図性・組織性・計画性に完全に移しえらるるまでに闘い抜かれなければならない。その中心は、国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。

この意図性・組織性・計画性に完全に移しえらるるまでに闘い抜かれなければならない。その中心は、国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。

この意図性・組織性・計画性に完全に移しえらるるまでに闘い抜かれなければならない。その中心は、国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。国内闘争として問題を提出しようとする。











